

用語の解説

(総務省統計局「令和2年国勢調査の結果で用いる用語の解説」から抜粋)

人口

国勢調査で調査した人口は、調査年の10月1日午前零時現在（以下「調査時」という。）の人口です。

調査した人口は「常住人口」です。常住人口とは、調査時に常住している場所で調査する方法（常住地方式）による人口をいいます。ここで「常住している」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっていることをいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時にいた場所に「常住している」とみなしています。

5年前の常住地

「5年前の常住地」とは、その世帯の世帯員が5年前にふだん居住（常住）していた市区町村をいいます。

令和2年調査では、平成27年10月1日（前回調査時）に常住していた市区町村について調査し、5年前から調査時までの当該地域への転入状況を、以下の区分などで表章しています。

また、5年前には当該地域に常住していたが、転出し、令和2年調査時には他の地域に常住していた人は、「5年前の常住者」として、当該地域の結果表に表章しています。

なお、平成12年以前の調査では5歳以上の人のみ集計していましたが、22年以降の調査では、5歳未満の人についても、出生後に常住していた場所を調査し、集計しています。

項目名	内 容
常住者(現住地による人口)	当該地域に常住している人口
現住所	常住者のうち、5年前の常住地が「現在と同じ場所」の者
現住所以外(移動人口)	常住者のうち、5年前の常住地が「現在と別の場所」の者
自市区町村内	常住者のうち、5年前の常住地が「現在と同じ市区町村内の他の場所」の者
県内他市町村から	常住者のうち、5年前の常住地が「現在と同じ都道府県内の他の市町村」の者
他県から	常住者のうち、5年前の常住地が「現在と別の都道府県」の者
国外から	常住者のうち、5年前の常住地が「外国」の者